

NO.4 佐見とうふ 豆の力 Sōja カンパニー 佐見とうふ 豆の力 Sōja カンパニー 佐見とうふ 豆の力 Sōja カンパニー

NO.5 中央運輸指定 民間車庫工場 新車及び中古車販売 KZWORKS ケイスワークス

NO.6 飛騨川漁業協同組合 飛騨川漁業協同組合 飛騨川漁業協同組合

NO.7 白川町森林組合 白川町森林組合 白川町森林組合

NO.8 東濃ヒノキ白川市場 東濃ヒノキ白川市場 東濃ヒノキ白川市場

NO.9 東濃ひのき製品流通センター 東濃ひのき製品流通センター 東濃ひのき製品流通センター

NO.10 東濃ひのきと白川の家 東濃ひのきと白川の家 東濃ひのきと白川の家

NO.11 美濃茶 美濃茶 美濃茶

NO.12 竹腰モーターズ カーマート 竹腰モーターズ カーマート

NO.13 総合建設業 大脳建設株式会社 大脳建設株式会社

NO.14 五寸柱の家 五寸柱の家 五寸柱の家

6道の駅 清流白川アオレの里

清流白川アオレの里は、清流白川を源流とする清流白川アオレの里。清流白川アオレの里は、清流白川を源流とする清流白川アオレの里。清流白川アオレの里は、清流白川を源流とする清流白川アオレの里。

■ワクワハウス  
お打ちちもーんぐアオレの里。清流白川アオレの里は、清流白川を源流とする清流白川アオレの里。清流白川アオレの里は、清流白川を源流とする清流白川アオレの里。

■マズ約リ「アオレ・パルコ」  
清流白川アオレの里は、清流白川を源流とする清流白川アオレの里。清流白川アオレの里は、清流白川を源流とする清流白川アオレの里。

4道の駅 美濃白川「ピアチェーレ」

「ピアチェーレ」とは、イタリア語で「はじめて」という意味です。道の駅美濃白川「ピアチェーレ」は、地元産の野菜や果物を使用した「白川茶」と「白川ハム」の直売をはじめ、町内産のお米、地酒、和菓子、近隣地域の特産品や土産など多数の商品を取り扱っています。

■コテージ(貸別荘)エリア  
アパレルショップや、ウディでおしゃれな建物があるコテージ村。全棟パイルデッキで、全棟バス・トイレ・キッチンももちろん。電化製品なども取り揃えています。2泊5日は5種類、ファミリーから団体に利用まで、お好みに合わせてお選びいただけます。

良い位置、良い市場、41号線

白川町内の新鮮な野菜や果物、手頃なお値段やお弁当などが楽しめます。よいいち41美濃白川 白川町南3550

10フィートの芸術と本物の挑戦

よこひつりクラブ 美濃白川ゴルフ倶楽部

登録有形文化財 土木遺産 白川橋

JR高山線の建設工事により、白川橋が開業した大正15年(1926)に完成した鋼製の吊り橋です。床材が木材からコンクリートになった以外、100年以上の間に、変わらぬ姿をまもっているのは、当時の高度技術の誇りを示しているといえます。

内祭用神棚製造販売 有限会社 和泉産業

加茂郡白川町河原1024-1 TEL(0574)72-2133 FAX72-2728

洞雲寺 洞雲寺 洞雲寺

古くより和泉田代村に、庵寺としてあり、寛吉3年(1443)将軍定利義興公に寺に多くの土地が寄進される。康正元年(1455)却摩殿が山主となる。文明18年(1486)徳源開元院より交互住持を派遣される。和泉高木三三代目高木基正助が開基となり、洞雲寺を完成する。慶長9年(1578)本寺開元院十世住持大和尚が中興開山となり、大龍堂を完成した。

飛水峡 飛水峡 飛水峡

飛騨川の白川から七宗町に至る約2kmの深谷。長年、滝流によって開かれた岩窟には、岩窟には岩穴(おけつ)と呼ばれる岩窟の穴(おけつ)が数多く見られます。その景観は昭和36年(1961)に、飛水峡の岩窟群として国の天然記念物に指定されました。飛水峡は、飛水峡を含めた流域一帯は飛騨白川川国定公園にもなっています。

佐長田神社春の祭典 佐長田神社春の祭典

別名「きぬふり祭り」。独特の立派なカラフルな衣装で、紅白模様の幟を振り回しながら、舞を踊ります。祭典は、五穀豊饒を願って神馬とともに奉納されます。毎年4月第二日曜開催

美濃白川ゴルフ倶楽部

本格的な宿泊施設(コテージ)が充実。ご宿泊とプレーを思う存分お楽しみください。

別記 中心部拡大図

白川町中心部拡大図。白川町中心部拡大図。白川町中心部拡大図。

JAめぐみの 美濃白川マルシェ

JAめぐみの 美濃白川マルシェ。JAめぐみの 美濃白川マルシェ。

佐見川峡 佐見川峡 佐見川峡

国道256号線沿いの佐見川には、約6kmにわたる佐見川峡(佐見川)と呼ばれる小さな深谷があり、四季折々の景色を堪能できます。特に秋には美しい紅葉を堪能できます。例年は11月上旬から中旬が見頃です。

町の花岩つじ 町の花岩つじ

全地地質調査に選定された「飛水峡」では、奇岩と咲き乱れる岩つじを見ることが出来ます。岩間にしつかり花を張り、風流に揺れる岩つじは花として、初夏にはピンクの可憐な花を咲かせ、白川の清流に風情を添えます。

安産神社 安産神社

安産神社の守護神といわれる荷取天をお祀りする。この地域唯一の安産神社です。毎年2月の第四日曜日に例祭が行われ、安産を願う町内外の妊婦さんが訪れます。

廣通寺の山門鐘楼

白川町山門鐘楼が再建した鐘楼で、寛文3年(1667)に完成している。木造二階瓦葺で、入母屋千鳥葺造。建坪は13.2㎡である。白川町指定有形文化財。

JAめぐみの 美濃白川マルシェ

JAめぐみの 美濃白川マルシェ。JAめぐみの 美濃白川マルシェ。

野津島神社 天正堂

天正15年(1926)に興の保存木に指定された樹齢約250年の古木。ヒコガクラの一種で、真っ白な花を咲かせて春の訪れを告げる。平成7年(1995)に「天正堂」と命名された。

野原城址

天正元年(1573)、東濃制覇をめざす苗木山に攻められ陥落した城跡。ここからの眺めは一見の価値あり。野原城址。安江光重公は、大山白川神社中興の祖として知られ、安江氏繁栄の礎を築きました。

パイオルガン

白川町民会館のグロリアホールには、オルガン建造家、故江宏氏が製作したパイオルガンが設置されています。パイオルガンは、オーガストのような荘厳な音色から「美器の王様」と呼ばれています。白川町は「パイオルガンのまち」として知られ、まちの人にとって身近な楽器として親しまれています。見学は要予約

近代遺産 上原生ダム

飛騨川下流の上原生発電所(加茂郡七宗町)の取水元として、大正15年(1926)に完成した国内最古のローリングゲートダム。小規模ながら重厚な石造りのゲートドアやモダンなデザインのゲート室に、大正期の建築色が色濃く残っています。

二ツ森山頂上

加茂郡の最高峰。西森(標高1223m・白川町)と東森(標高1155m・福岡町)が寄り添うようにそびえる。頂からの眺めは最高で、南アルプスや中央アルプスの山々が一望の下に望めます。

手もみ茶

白川町の伝統文化である手もみ茶は、戦後の機械化の流れで、ほとんど姿を消してしまいましたが、手もみ茶会がその技術と味を今に伝えています。

鋼製鴨口(龍氣寺)

青銅製。室町時代のもので、表面の直径21.5cm、厚さ7cm、耳の出2.5cm、総重5.5cm、重1.8kg。面の裏は三車となっており、扉裏一般の扉裏でなく、葉となっており、外周が鉄線となっており、左側に「高永22年4月19日」右側に「奉納入野口切井地所地蔵堂住持」の文字が刻記されています。

手もみ茶

白川町の伝統文化である手もみ茶は、戦後の機械化の流れで、ほとんど姿を消してしまいましたが、手もみ茶会がその技術と味を今に伝えています。

大雲山龍氣寺

加茂郡白川町河原116-1 TEL(0574)73-1503 FAX73-1687

大雲山龍氣寺

加茂郡白川町河原116-1 TEL(0574)73-1503 FAX73-1687

大山白山神社

【大杉指定文化財】 杉材を見守るようにそびえる大杉は、高さ41m、樹齢11.5m、樹齢1200年余にもなる国の天然記念物。

同本一平句碑

日本海界の父岡本一平氏が1945年白川町へ移住。滞在中に17文字の新しい文芸「漫筆」を揮毫し、今もこの地で継承されています。夫の岡本村の手で継承されて、息子岡本太郎(日本代表する芸術家として有名)です。

天心白岩の塔

昭和43年(1968)8月17日夜半から翌未明にかけて、中濃地方を襲った豪雨のため、国道41号線上で避難していた観光バスが、山間から流れ出した土石流に押し流され、激流渦巻く飛騨川に転落しました。この惨劇を慰むために、104名の犠牲者追悼のため、この地方でつくられた14名の魂を慰むために、全国からの浄財で建立された鐘樓の塔です。(国道41号改良事業に伴い移転)

丸八住宅株式会社

丸八住宅株式会社。丸八住宅株式会社。

株式会社 シラカワ

株式会社 シラカワ。株式会社 シラカワ。

